

即時インプラント治療をはじめとした 先端技術による患者主体の歯科治療

ミスキデンタルオフィスの水木信之理事長は、「患者さん主体の歯科医療を提供したい」との志で同院を開院したという。2007年には「先端技術とホスピタリティーの融合」をテーマとする第2オフィス、インプラントセンター横浜を開院。コンピューターガイドやナビゲーションシステムで信頼性の高い手術を行い、切開をしない、出血や痛み、腫れを抑えた即時・早期にかめるインプラント治療を提供している。

コンピューター先端技術による 患者に優しいインプラント治療

水木理事長はこれまで横浜市大医学部口腔外科臨床教授を長く務め、現在は理事長の傍ら日本歯科大学インプラント科臨床講師や中国同濟大学附属上海第十人民医院顧問を兼任するなど、広く活躍する。大病院と連携し、従来ではインプラント治療の困難な骨移植を伴う難症例も治療可能という。

24年のインプラント治療実績を持ち、日本口腔外科学会認定口腔外科専門医として専門的な手術を数多く実施。先端の医療設備・機器を備えて詳細に診査・診断し、マイクロ顕微鏡による手術を行う。

被曝線量が少なく精度の高いセファロ・パノラマ一体型CT装置を国内で先駆けて導入し、オンライン化した院内ですぐにCTレントゲンやカルテの確認、情報提供ができる体制を構築している。

手術室には滅菌した空気が流れるNASA規格の設備を導入。コンピューターガイドや、手術箇所をリアルタイムで判別するナビゲーションシステムを取り入れ、負担の少ない手術を短時間で行う。「切開や骨移植をしない方法などで、出血や痛み、腫れを抑えた、即時・早期にかめる体に優しい治療を提供します」と語る。人工歯根の埋入と同時に人工歯冠を装着し（即時埋入即時負荷）、当日に咀嚼機能を回復する治療も行うため、日本各地に患者がいるという。

ホスピタリティー医療を重視した術前の五感リラクゼーション
インプラント手術を受ける患者は不安や緊張を伴う。それを和らげるため、手術前に、味覚（ハーブティ）、嗅覚（アロマセラピー）、聴覚（音楽療法）、視覚（ヒーリング映像）、触覚（バイブレーション）での五感リラクゼーションを導入。呼吸や血圧を安定させて不安や緊張を抑え、自律神経系の



①各種先端機器を導入した最新手術室。②精度が高く被曝線量の少ない最新の歯科用CT。③長時間で審美的なセラミックを作るコンピュータCAD/CAMセラミックシステム。④手術には細部まで鮮明に見えるマイクロ顕微鏡を使用。⑤手術の際にリアルタイムで正しい位置を確認するナビゲーションシステム



⑥リラクゼーションできる個室の待合室。⑦個室のカウンセリングルーム。⑧ヒーリングルームでセラピーを行う。⑨五感リラクゼーションで用いるアイテム

バランスを整えて安定した状態にしていく。ヒーリングルームで行われるこの処置は心理カウンセラー・医学博士水木さとみ先生が心身医学を基に携わっているという。また、コンピューターCAD/CAM（セラミックシステム）を取り入れ、金属アレルギーを抑えた、変色しない、審美的なセラミック治療を実施するほか、上下20本の歯を削らずに短時間で輝く白さ



⑦

⑧

⑨

にするホワイトニングも提供する。水木理事長はNHK「きょうの健康」の相談医を務め、著書も出版し、毎月インプラント無料講演会（HP参照）を開くなど、インプラント治療の啓蒙も活発に行っている。「おいしい食事、すばらしい笑顔、楽しい語らいをインプラントで取り戻し、ハッピースマイル＆ナイスエイジングな人生を送る支援をさせていただくのが喜びです」と水木理事長は穏やかな優しい笑顔で語る。取材／鈴木健太



医療法人社団 信和会
ミスキデンタルオフィス
みずきのぶゆき 理事長 医学博士
水木 信之
1985年、日本歯科大学卒業。1990年、横浜市大医学部口腔外科大学院修了（医学博士）、米国マイアミ大学医学部フェロ留学。1995年、横浜市大医学部高度先進医療インプラント治療主任。2005年、横浜市大医学部臨床教授。2007年医療法人信和会理事長。2008年、日本歯科大学インプラント科臨床講師兼任。日本口腔外科学会専門医

医療法人社団信和会
ミスキデンタルオフィス
診療科目： 歯科、小児歯科、歯科口腔外科、矯正歯科
診療時間： 平日 9:30~13:30/15:00~19:00
土 9:30~13:30/15:00~18:00
休診日： 日・祝
〒220-0005
神奈川県横浜市西区南幸2-12-5 ニッセイ第5ビル3F
☎ 0120-980-448 (新患受付・診療時間内)
※無料相談随時受付
<http://www.shika-implant.jp/>
<http://www.shika-shinbi.jp/>

※インプラント治療、セラミック治療、ホワイトニングは保険適用外の自由診療です。治療費はインプラントが1歯30万~50万円、セラミック治療（セラミックシステム）が1歯3万4千~6万9千円、ホワイトニングが4万~6万円（上下顎）です

歯科用CTのある 歯科医院

より正確な診断が広がる可能性



近年、より質の高い歯科治療への期待の高まりを受けて、歯科用CTを導入する医療機関が増えている。従来のレントゲン撮影と比べて、口腔内の状態を立体画像で詳細に把握できるなど、多くのメリットから注目を集めている。

歯科医院で行うCT検査

CT（コンピューター断層撮影）は、人体の周囲から照射したX線を解析して体内の画像を輪切りで描き、それを重ねて立体化したデータを得る装置だ。近年技術の進歩により、口腔内を診断できるCTが開発され、歯科領域でも積極的に導入する医療機関が増えている。一般的な歯科治療に用いられているレントゲンと比べ、口腔内の状態を立体画像で得られることで、より細部にわたって正

確な診断が可能となった。

歯科用CTは、X線を一度で広い範囲に照射するため、狭い照射範囲で位置を変えて何度も撮影する必要のある医用用CTと異なり、撮影時間が短時間で済む。そのためX線による被曝線量も医用用CTより少なく、患者の負担は大きく低減される。

インプラント治療の 術前計画にも大きく貢献

歯科用CTは多くの歯科治療に役立つが、中でも大きな効果を発揮するのがインプラント治療だ。手術で失われた歯の代わりとなる人工歯根をあこの骨に埋入し、それを土台に人工の歯を固定するインプラント治療では、治療の質を確保し、より正確な治療を行うために術前の治療計画が重要だ。

人工歯根を正確に埋

監修



医療法人社団信和会
ミスキデンタルオフィス

みずき のぶゆき 理事長・医学博士

1985年、日本歯科大学卒業。1990年、横浜市大医学部口腔外科学大学院修了（医学博士）。米国マイアミ大学医学部フェロー留学。1995年、横浜市大医学部高度先進医療インプラント治療主任。2005年、横浜市大医学部臨床教授。2007年医療法人信和会理事長。2008年、日本歯科大学インプラント科臨床講師兼任。日本口腔外科学会専門医

歯科用CTのある歯科医院



セファロ・パノラマー体型CT装置

め込むためには、さまざまな準備が必要だ。人工歯根を埋める骨の量を補う治療を行うかの判断や、医療事故を未然に防ぐため、神経や血管の状態の把握なども求められる。そこで、歯科用CTを用いて治療部分の骨の状態を調べることで、口腔内の状態を正確に把握し、より綿密な計画の立案が可能となる。

また、デジタル画像をインプラント専用ソフトウェアに移行でき、コンピューターガイド
このように、歯科用CTによる検査を用いることで、治療を効率よく進められるようになる。さらに診断結果を立体画像で分かりやすく患者に見せたり、コンピューター上で治療の流れをシミュレーションしたりと、患者も十分な説明を受けることができ、納得して治療が受けられる。歯科用CTを備えている歯科医院は、より患者に適した治療を提供できるようになっていく。今後、普及が広がっていくにつれ、歯科治療に必須の検査になっていくだろう。

患者の負担軽減にも つながる歯科用CT検査

やナビゲーションシステムで手術を補助できるのも利点だ。